

別紙 1

「平成19年度アジア問題調査研究事業 - 中央アジア-」 ～ 中央アジアの対ロシア関係の新展開 ～ 実施概要

I. 事業の目的

政治的、経済的に大きな変貌を遂げつつある中央アジア諸国に対する研究は我が国においていまだ十分ではなく、今後より一層の調査が必要とされるエリアである。また、ロシアから独立後どのように中央アジア諸国が変化を遂げているかを明らかにすることは、今後、我が国とこれらの国々との経済関係の強化を促進していく上でも重要である。

こうした背景を踏まえて、今回「中央アジアの対ロシア関係の新展開」という共通テーマのもと、中央アジア諸国の中で研究者が少ないために調査の遅れている「トルクメニスタン」と「タジキスタン」にそれぞれの専門家を派遣して、変わりつつある中央アジアの現状を探り、研究成果を関係先に供し、情報交換を図っていくものとする。

II. 概要

事業名	「アジア問題調査研究事業－中央アジア」
実施期間	平成19年11月20日(火)～11月30日(金) 11日間。 日本からトルクメニスタン、タジキスタンへの直行便がないため、イスタンブール経由にて入出国となり、現地の調査期間は11月22日(金)～29日(木)。 実施場所中央アジア2カ国 ①トルクメニスタン、②タジキスタン
実施内容	共通テーマ「中央アジアの対ロシア関係の新展開」をもとに、現地の最新状況を調査、分析し、広く関係各所に報告する。
派遣専門家	2名 岡田 晃枝氏(東京大学 教養学部 教養教育開発機構 特任講師) 稲垣 文昭氏(慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 特別研究講師)
実施団体	(財)貿易研修センター
特記事項	①本事業は日本自転車振興会の補助金を受けて実施した。 ②平成20年2月4日(月)に開催した「IIST・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム」において、その調査内容を報告した。

Ⅲ. 調査目的

1. トルクメニスタン

岡田 晃枝 (Terue OKADA) 東京大学 教養学部特任講師

トルクメニスタンの主要産業分野は化石燃料、とくに天然ガスの分野である。これまでニヤゾフ大統領のもとで、その天然ガスの輸出ルートを念頭に置いた、いわゆる「パイプライン外交」が展開されてきた。したがって、プーチン政権になってから、その世界戦略の中で中央アジアの天然ガスに強い関心を持つロシアは、トルクメニスタンにとって、特に重要な国であり続けている。逆に、天然ガスの輸出にかかわる条件において利害が対立したいくつかの国との間では、関係がこじれてしまっていた。

しかし、トルクメニスタンでは、独立以来ゆるぎないトップの座に君臨し続けてきたニヤゾフ大統領が 2006 年末に急逝した。現在、ベルディムハンメドフ新大統領のもとで、その外交路線の見直しが行われている。ベルディムハンメドフ新大統領は就任以来、積極的な「全方位外交」を推進し、ニヤゾフ大統領の時代に関係が悪化した国々との関係修復にも乗り出した。

そのような中で、トルクメニスタンの外交政策におけるロシアの重要性は相対化される傾向にあるのかどうか。あるいは、天然ガス以外の部分での外交関係にはどのような変化があるのか。このような関心のもと、現地で調査を行うものである。

2. タジキスタン

稲垣 文昭 (Fumiaki INAGAKI) 慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科 特別研究講師

タジキスタンは、1992 年から 2000 年にかけて内戦状態に陥った(1997 年 7 月に和平協定は締結されているが、国連タジキスタン監視団が内戦終結を宣言したのは 2000 年)。この内戦期間を通し、ロシアはアフガニスタンとの国境線警備を行うなど軍事的な側面にくわえ政治・経済的にもタジキスタン政府の支援を行ってきた。

しかしながら、アフガニスタンとの国境線警備が既にタジキスタン軍に引き渡されるとともに、タジキスタン政府は門戸開放政策 (Open Door Policy) を外交政策の柱として 2000 年に宣言、ロシア以外の大国はもちろん諸外国との関係構築を打ち出している。例えば、本年にはラフモン大統領が毎年 4 から 5 箇所の在外公館設置を宣言するなど、バランスを重視した外交政策を押し進めている。にもかかわらず、他の中央アジア諸国同様、ロシアとの 2 国間関係はタジキスタンの外交政策を考察する上で、決して無視し得ない要因であることは変わりがない。例えば、タジキスタンが建設をすすめるラグーン (Rogun) 水力発電所やソ連第 2 の規模を誇ったタダズ (Tadaz) アルミニウム工場などタジキスタンの経済発展を担う 2 つの施設にロシア系企業が積極的に投資している。

そこで、ロシアとタジキスタンの関係を調査するのが本調査の目的である。主な視察先は、現地の水力発電所施設。